

2023年

4月号

No.481

📰 広報

たけとみちよう

夢に向かって
新たな場へ旅立つ



2023年2月末現在

総人口：4,295人(12)

男性：2,214人(19)

女性：2,081人(△7)

世帯数：2,554戸(15)

卒業



竹富町内の各小中学校で、卒業式が行われました。

竹富町では、中学校を卒業すると親元を離れて、新たな環境で生活することになる生徒が多く、地域全体で卒業生たちの今後を応援している姿がみられました。

今回、竹富町内の中学校での卒業式の様子を紹介させていただきます。



卒業生



多宇 志琉さん

卒業後は、学年で成績上位になること、テニス部に入って活躍出来るように頑張りたいです。



高松 俊巴さん

卒業後、沖縄本島の高専に行くので、自分の将来の夢を叶えるために勉強を頑張りたいと思います。



上條 紘人さん

高校では、大学にも行きたいので勉強を頑張りたいです。

インタビュー

今回、取材させて頂いた大原中学校の生徒の皆さんに、卒業後に頑張りたいことをインタビューいたしました。

Graduation
Interview



亀井 愛梨さん

私は、今まで地域の方にたくさん支えていただいたので、沖縄本島に行って良い姿をたくさん見せられるような高校生になりたいです。



上原 琉輝さん

高校では、野球部に入り練習に励んで甲子園出場を目指します。勉学では、電気関係の資格を取得したいです。



上原 秋花さん

石垣島の高校に行く予定で、将来は大学に進学したいと思っているので、しっかりと勉強に励みたいと思います。



金田 八笑さん

那覇国際高校に進学するのですが、レベルが高いので、みんなについていけるように頑張りたいです。



中村 幸桜さん

将来の夢が声優になることなので、高校では声優になるために知識と技能を身に付けていきたいと思います。



大舛 真凜さん

卒業後は、新しい生活が始まるので勉強と部活の両立して、いつか恩返しができるように頑張りたいです。

船浦中学校





波照間小中学校



黒島小中学校



西表小中学校



小浜小中学校





4月15日は

イリオモテヤマネコの日

40
ゆっくり走ろう
西表島



～1965年4月15日、イリオモテヤマネコが新種であると公表された日～

特別天然記念物のイリオモテヤマネコと人間が共存しながら地域を発展させることを啓発するため、2015年に竹富町条例で制定されました。ぜひ、イリオモテヤマネコについて思い出してみてください。

～動画でイリオモテヤマネコのうごく姿をご覧ください～

西表野生生物保護センターのweb サイトにて
自動撮影カメラにより撮影されたヤマネコの姿をご覧ください。



～イリオモテヤマネコの交通事故を防ぐために～

昨年は自動車との衝突により4頭が命を落としました。日頃の車移動時にはスピードをおさえ、「生き物にやさしい運転」を意識しましょう。

★朝、夕、晩は特にヤマネコの活動が活発になる時間帯です。

★道路上のカエルやカニなどの生物にも注意しましょう。車にひかれるとヤマネコが食べに出てくる原因になります。

～事故対策に活用するため、ヤマネコの目撃情報をお待ちしています～

*事故に遭遇した場合には、速やかに西表野生生物保護センターのヤマネコ緊急ダイヤルまでご連絡ください。

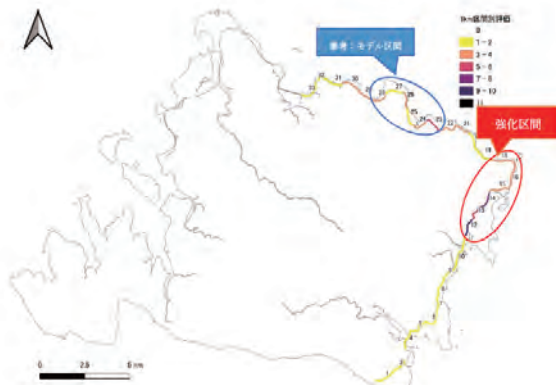
ヤマネコ緊急ダイヤル 0980-85-5581 24時間受付中



■イリオモテヤマネコ交通事故防止強化区間（ヤマネコよんなーロード）の設定について

イリオモテヤマネコの交通事故対策の一環として、これまでの目撃情報及び交通事故の傾向から事故リスクの高い区間を抽出して、広く運転手等に通年的に注意を呼びかける区間を設定します。引き続き、移動式看板による呼びかけも実施しますので、交通事故対策にご協力をお願いいたします。

対象区間：（東部）相良～東ホネラの7km、（西部）エコツーリズム協会前～干立集落の4km



竹富町 スポーツ少年団交流会



学童軟式野球の部 優勝
上原ストームズ

令和5年2月25日に、石垣市・平真小学校で令和4年度竹富町スポーツ少年団交流会が行われました。
ミニバスケットボールには9チーム、学童軟式野球には3チームが参加しました。
児童たちは、日頃の練習の成果を発揮し、ハツラツとしたプレーで競いました。



ミニバス低学年の部 優勝
上原ドリーム



ミニバス高学年の部 優勝
上原ドリームA





※2023年3月号10ページ、ミニバスケットボールの記事にて、「上原ドリーム」を「上原ストームズ」と誤って表記しておりました。訂正して、お詫び申し上げます。

令和5年度 施政方針

竹富町長 前泊正人



1 はじめに

第22代竹富町長として就任し、早くも11ヶ月が経過しました。就任した年が奇しくも新庁舎の開庁と同年代であり、本町の歴史に新たな1ページが開かれたことに、感慨深く心に感じ入るものがあります。更なる行政サービスの向上に向けて、町民の皆様が何を思い、何を求めているのか、真摯に耳を傾け、町民に寄り添った行政運営に取り組みとともに、常に職員の先頭に立ち行政課題の解決に努めてまいります。

また、今年には町制施行75周年及び北海道斜里町との姉妹町盟約50周年の節目の年であります。これまでの歩みを振り返り、更なる交流の絆を深めてまいります。

2 町政運営、施策の基本的な考え方

私は町長に就任後すぐに、町民の皆様にお約束をしていました、町民から町長に声が直接届くシステム「町長直行便」の運用を開始しました。早速、町民の皆様から多くの貴重な意見を頂いており、その課題解決に取り組んでいるところであります。

また、原油価格・物価高騰の影響により町民の生活における負担を軽減するため、町民等船賃負担軽減事業に係る燃油サーチャージ補助を実施しました。西表大原庁舎整備につきましては、町民の民意を踏まえ、適切な機能や規模の整備に向けて進めてまいります。併せて本町の産業振興、超高齢社会への対応、子育て世代への支援、デジタル社会への取り組みを推進し、行政サービスの効率化により、

島々の均衡ある発展を図るべく、自治体DXを推進し、地域社会全体のデジタル化を加速させ、オンラインを活用した行政手続きの簡略化、医療・介護分野及び農林水産業のICT化など、生産性向上のために全産業におけるDXを促進してまいります。また、地域の拠点となる各公民館などにおいては、テレビ会議システムを活用した住民説明会や研修・修学の機会創出に取り組んでまいります。

3 まちづくりの基本姿勢について

基本目標の第一は、「町民の声を聴き、情熱をもって行動し、町民とともに竹富町の未来をつくる」取り組みであります。

全ての町民が元気でわくわくする竹富づくりのために、町民皆様の声を積極的に反映させながら、一つ一

つ形にしていくため、戦略的に政策を考え、総合的かつ横断的に喫緊の課題へ対応し、強力に施策を推進してまいります。

第二は、「町民の幸せを第一に、町内全域の均衡ある発展を図る」取り組みであります。

地方自治体の使命は、町民皆様の福祉の増進、幸せの実現にあります。本町には歴史、文化、伝統、自然、人といった素晴らしい資源と魅力に満ち溢れています。これらの資源と魅力の可能性を開花させ、子どもからお年寄りまで誰しもが幸せになれる町を創ってまいります。その為に、職員の意識改革と行財政改革を積極的に進め、持続可能な財政基盤づくりを行いながら、町民福祉の向上と町の均衡ある発展を図ってまいります。

第三は、「行政情報の積極的な開示と公平公正で透明性のある行政運営」の取り組みであります。

町長就任後、積極的に町内の島々へ足を運び、町民皆様の声、各公民館、各種団体の課題・要望を聞き、併せて町長直行便に寄せられる意見などにもスピード感を持って課題解決に取り組んでまいりました。このよう

な情報を分かりやすく、速やかに伝えるべく、今後も広報誌やホームページ、LINEなどの各種電子媒体等を活用した行政情報の提供、公開を図ってまいります。また、各公民館・各種団体と住民主体の地域づくりを進めていくとともに、行政との連携強化により男女共同参画や地域の課題を共有できる場づくりを推進し、協働と協調のまちづくりを取り組んでまいります。

これまで、申し上げました「町政運営や施策の基本的な考え方」、「まちづくりの基本姿勢」に基づき、令和5年度の基本政策につきまして、その大要を御説明申し上げます。

4 子育て支援・教育の充実

島々での子育てを地域社会で支え、安心して出産や子育てができる環境整備と、多様な課題解決に取り組んでまいります。また、引き続き、妊産婦への経済的負担軽減に向けた移動交通費や宿泊費の支援及び中学生までの医療費継続支援に取り組んでまいります。また、婚姻に伴う新生活を応援するため、居住費や引越し費用の支援及び出産祝い金の経済

的負担の軽減に取り組みます。

児童生徒の心身の健全な発育に資するため、安全・安心して快適な教育環境づくりを推進するとともに、学習支援や生活習慣の習得支援などを行うため、地域の資源を活かした子どもの居場所づくりを充実させることに取り組みます。また、幼児・児童・生徒一人一人の可能性を伸ばし、未来を切り拓く資質・能力を育むため、ICTの活用による個別最適な学びを推進するとともに、本町の豊かな自然や海洋文化を活かし、将来にわたり海洋の恵沢を享受できるように小中学校の教育課程における海洋教育を推進してまいります。他にもスポーツなど各種大会への派遣費を支援し、併せて社会教育・生涯学習の機会充実に取り組んでまいります。

また、子育て支援をはじめ、いじめ問題への取り組みや不登校児童生徒への支援体制、ヤングケアラーへの多角的な支援やジェンダー平等の実現と性の多様性が尊重される社会の構築に取り組んでまいります。

5 農業・畜産・水産業等の振興

地域の諸条件を考慮した生産基盤の整備、活力ある経営体の育成の各種施策を展開し、地域特性を生かした農林水産業の確立に向け、第一次産業の担い手育成の支援を強化するとともに、農業振興の基礎となる農地の適正かつ有効利用について、遊休農地等の解消及び集積・集約化を図り、社会的経済的状況を考慮した総合的な農業振興に向けて取り組んでまいります。

農作業の省力化及び、効率的な農産物流通体制の構築に向けては、多機能型貨物輸送船の整備及び輸送コストの低減化に国及び県と連携して対策を講じるとともに、さとうきび集中脱葉施設、農産物集出荷場整備等に向けて取り組んでまいります。

また、圃場区画整理、貯水池、排水路等施設整備を推進し、農作業効率化及び、安定した営農、担い手育成、農業所得向上を目指します。

畜産業においては、更なる資質向上と生産農家の育成を推進し、拠点産地としての体制強化を図るとともに、堆肥処理施設等の整備に向けて

調査・研究を行い、家畜排せつ物の適正な処理と土づくりなど環境と調和のとれた資源循環型農業の促進に取り組んでまいります。

水産業につきましては、関係機関、地域漁業者と連携を図り、漁業者の所得向上を目指す「浜の活力再生プラン」による取り組みを実施し、関係施設の整備と併せて漁港施設等の適正利用を進め、地域における水産業振興に向けて取り組んでまいります。

林業につきましては、景観形成、文化・観光資源としての樹木などの保全に努める他、地域の特色となる建築木材等の生産事業創出、国有林野等の有効活用について取り組んでまいります。

6 町民が安心して暮らせるまちづくり

医療や搬送体制の拡充と併せて災害発生時の対応として、住民の防災訓練への積極的な参加を図り、地域防災力の強化、さらに、交通安全対策や犯罪防止にも努めてまいります。また、町内全域で自主防災組織育成の推進や救急搬送が多発する西

表島西部地区においては、引き続き救急搬送を民間救急救命士に委託する業務に取り組みます。今後は関係機関、地域との連携を密にしながら、テレワークやワーケーション、遠隔医療、遠隔教育など新たな視点での取り組みを推進してまいります。

住環境につきましては、地域ごとの特性や課題に応じて、町営住宅や民間活力を生かした住宅の整備を推進し、竹富町の島々、地域の実情を加味した魅力ある住宅環境の提供に努めるとともに、安全で快適な道路空間が図られるよう、各地域からの要望なども踏まえ計画的に町道整備に取り組んでまいります。

交通政策につきましては、引き続き波照間航空路線の再開と海上交通の安定的な就航に向け、国及び県並びに事業者と連携して取り組んでまいります。

水道事業につきましては、配水管の維持管理や調査設計業務と計画的な工事着手を行い、水道水の安定供給に取り組んでまいります。

下水道・農業集落排水事業については、排水処理による環境保全と衛生的な生活環境を維持するため、既存施設の適正管理に努めてまいります。

7 医療・介護・福祉の充実

本町における医療体制は脆弱であり、その脆弱性を克服すべく、今後は超高速ブロードバンド事業で整備したネットワークインフラを活用し、国及び県の関係機関とのネットワーク化を図るとともに、オンラインを活用した遠隔医療を推進し、持続可能な医療提供の実現に取り組みでまいります。町民一人一人が大切にされ、安心して暮らすことが出来るよう、地域で必要な医療ニーズを踏まえ、良質かつ適切な医療体制・搬送体制等の拡充について国及び県の関係機関と連携し取り組んでまいります。また、住み慣れた島々で自分らしく安心して暮らす健康で暮らし続けることができるよう、高齢者の特性や地域の実情を考慮しつつ、保健事業と介護予防を一体的に取り組み、介護・医療・福祉関係者等とともに地域・住民主体型の切れ目ない継続的な高齢者福祉施策の充実に努めてまいります。

障がい福祉等につきましては、年齢や障がいの有無に関わらず、町民が結の心で支え合う「共生社会」の

実現を目指し、障がい者が必要な福祉サービスやその他支援を受けながら、誰一人取り残されない優しい地域を形成し、安心して暮らせるよう努めてまいります。

8 商工観光業の振興

地元の農林水産物をはじめ有形・無形の地域資源を活用し、生産段階の商品開発から流通、販売までの販路拡大を一貫して役割を担う「地域商社」を設立し、本町のブランド創出に向けた6次産業化・農商工連携による取り組みを促進してまいります。また、離島フェア、産業まつりなどへの出展支援、伝統工芸品の技術継承と後継者育成の推進に取り組み、国内外へのプロモーション活動を積極的に展開してまいります。さらに、観光産業など他産業との連携を強化し、就業機会の創出や地産地消の拡大により経済活動の拡充に取り組んでまいります。

観光振興につきましては、令和3年7月に生物多様性が持つ顕著な普遍的価値が認められ、西表島が世界自然遺産に登録されました。今後は西表島エコツーリズム推進全体構想

に基づき、観光客の受け入れの在り方を見直し、自然との調和を保ちながら、住民生活に悪影響が出ないよう、ガイド制度の普及や観光客の入域管理、持続可能な観光受入体制の構築と自然環境との共生に取り組んでまいります。また、都市部にはない美しい星空のダークスカイや、本町が有する資源を活用した滞在型・着地型観光を促進することを目的とした誘客宣伝活動及び多言語対応などによる受入体制の整備・強化を関係機関と連携し取り組んでまいります。また、令和4年度で改訂に基づき、「責任ある観光の構築」、「観光による経済波及効果の増幅」、「観光と自然、暮らしとの両立の推進」、「観光の観点から見た町内課題の解決」の4つを計画の施策方針として推進してまいります。

9 自然環境の保全

豊かな自然環境を有する本町は「責任ある観光」を推進し、観光客の入域管理など、持続可能な観光受入体制の構築、自然環境・生物多様性の保全、希少な野生生物の保護、

竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護の推進、地域自然資産法に基づく自然環境の保全、星空保護区の保全そして竹富町観光案内人条例と連携した西表島エコツアーリズム推進全体構想に基づいて取り組んでまいります。また、生活環境・公衆衛生の向上及び地域の環境美化などに向け取り組んでまいります。さらに、本町は我が国の排他的経済水域を有しており海洋権益保全及び有人国境離島としての役割を果たすべく、海洋環境の持続可能な利用に向けた施策を推進してまいります。

日常的に直面している海洋ごみや廃棄物処理問題につきましては、回収や輸送の効率化を推進するとともに、国及び県などの関係機関と連携し、輸送コストの低減化対策を講じてまいります。

10 伝統文化と芸能・歴史の保存継承発展

日本最南端に位置し、島しょからなる本町は、その地理的な条件から、島ごとに独自の歴史や文化を有する地域であります。その歴史や文化を育んだ亜熱帯の自然は、西表島が世

界自然遺産に登録され、その価値を高めています。一方で先人は、生活を営むうえで厳しいその自然環境をどのように克服し、関わってきたかを生活史としてとらえ、それらを客観的・学術的に記録保存に取り組んでまいります。併せて地域に根差した伝統芸能やミンサーなどの伝統工芸の文化的資源を保存・継承し、そして新しい魅力を創造してまいります。また、島言葉の保存・普及・継承を図るため、関係団体や関係機関と連携し、その普及に取り組んでまいります。

11 行財政運営

財政の健全化と安定した財政基盤の確立に向け、引き続き経費の削減に努め、沖繩振興特別推進交付金事業（一括交付金）、沖繩離島活性化推進費（離島補助金）、沖繩振興特定事業推進費（推進費）、その他有効な財源の活用と債券運用も含め各種基金の効率的な運用に取り組んでまいります。また、今後の公共施設等の整備及び更新については、積極的にネットワーキングを活用し、公共施設等に係るイニシャル・

ランニングコストの削減に努めてまいります。加えてPPPやPFIといった公民連携の活用や中長期的な視野に立った、更新・統廃合・長寿命化等を行い、係る経費の財政負担の平準化に取り組んでまいります。

町税収入については、自主財源の根幹をなすものであり、賦課徴収において、公平・公正を確保する観点から引き続き、国税・県税・近隣自治体との連携を密にしながら現年度課税分の徴収に重点を置き、収納率の向上と、滞納繰越額の縮減に努めてまいります。また、本町を訪れる来訪者によって発生する行政需要に対応し、竹富町の目指すまちづくりを実現するため、来訪者を対象とした法定外普通税による税制度である「訪問税条例（仮称）」の制定に向けて取り組んでまいります。さらに、本町の特産物、アクティビティや宿泊などの体験型の返礼品を幅広く活用する「ふるさと納税」の推進や本町のまち・ひと・しごと創生推進事業の実施に向けて、多くの企業からご支援をいただき「企業版ふるさと納税」への取り組みを強化し、更なる自主財源の創出に取り組んで

まいります。

12 結びに

以上、令和5年度の町政運営に対する基本的な考え方と基本政策について、その概要を御説明申し上げます。

これまでの説明を基に予算編成した結果、一般会計では、前年度当初比11・4%増の81億2244万6千円となりました。また、特別会計では、前年度当初比20・2%減の17億9993万7千円としたところであります。

一般会計と特別会計を合わせた予算案の総額としましては、前年度当初比4・0%増の99億2238万3千円となりました。

町民の皆様並びに議員各位におかれましては、なお一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。令和5年度に臨む施政方針いたします。

1

NTTグループから、電話お願い手帳の贈呈



※電話お願い手帳をご希望の方は、竹富町役場 福祉支援課または竹富町社会福祉協議会へお問い合わせください。
竹富町役場 福祉支援課：0980-83-7415
竹富町社会福祉協議会：0980-84-3302

令和5年3月3日、NTTグループから電話お願い手帳が贈呈されました。電話お願い手帳は、耳や言葉の不自由な方が外出先で近くの方に協力をお願いするためのツールです。

NTT西日本沖繩支店事業推進室長小柳貴司様は「この活動も今回で41回目となりました。電話お願い手帳は、アプリ版もございますので活用していただきたいと思います。」とお話頂きました。

前泊町長は「ご厚意により、長く継続してこのような活動をしていただき、誠にありがとうございます。竹富町内でも有効に活用させていただきます。」と感謝を述べました。

トピックス

2

やまねこマラソン大会、イリオモテヤマネコ保護基金贈呈



令和5年3月17日、竹富町体育協会からイリオモテヤマネコ保護基金贈呈が行われました。今回の贈呈は、第28回竹富町やまねこマラソン大会で参加者の皆様から参加料の1人200円を頂き、合計21万3800円を贈呈とすることになりました。

前泊町長は「イリオモテヤマネコを保護するために、やまねこマラソンの参加者から頂いた貴重な財源を感謝しながら、しっかりと活用していきたいと思います。」と感謝を述べました。

イリオモテヤマネコ保護基金は、イリオモテヤマネコ保護のために、交通事故対策や啓発活動に活用されています。



令和5年3月25日、竹富町役場大会議室にて、令和4年度竹富町公民館連絡協議会第40回指導者研修会が行われました。

実践発表として、波照間公民館長の仲底善章さんが「波照間公民館の概要と活動について」をテーマに波照間島の現在抱えている課題や令和4年度に波照間公民館として行った活動などの発表を行いました。

講話として、日本防災士機構認定防災士の山下義雄さん（千立地区）が、「自主防災とは」をテーマに、各地域での自主防災組織の設立と地区防災計画策定の重要性を解説し、実際に千立地区で行っている取り組み等を紹介しました。

実践発表・講話それぞれ終了後の質疑応答では、各地域での課題について意見を共有し、参加者は見識を深めました。

赤十字の活動にご支援を

各世帯年間500円の協力が赤十字活動の支えです。

日本赤十字社は、人道・博愛の理念のもとに世界192の国と地域の赤十字社と連携し、災害や紛争などにより飢餓、貧困、病气などに苦しむ人々を国際的に救護するとともに、国内においても各種災害救護や輸血用血液の供給、医療の提供、青少年の健全育成などの事業を積極的に実施し、内外から寄せられる期待と要請に 대응しております。

新型コロナウイルス感染症が確認されてから3年余りが経ち、また、人道問題や巨大地震の発生など、日本はもとより世界の人々の生活や経済への影響が長期化しております。

このような状況においても日本赤十字社は、あらゆる災害へ迅速に対応できるよう努めるとともに、赤十字の組織力を効果的かつ最大限に活用し、社会ニーズの変化や地域の期待に応えられるよう、事業を実施しております。

これらの赤十字活動は、赤十字の人道的事業に賛同される県民一人ひとりが赤十字会員として毎年協力いただく会費と寄付金を財源として行われています。

5月は赤十字へのご理解とご協力をお願いし、年間500円以上をご支援していただく方を募集する会員増強月間です。

赤十字に協力するということは、世界各地で救援を必要としている人々を支援することになります。自治会役員や赤十字奉仕団員などの皆様が、奉仕活動として各家庭や事業所を訪問してお願いしています。

本年も竹富町民の皆様には、赤十字の人道的事業をご理解とご協力をいただき、世界の平和と人類の福祉向上の一翼を担って下さいますようお願い申し上げます。

地域おこし協力隊活動報告

【西表白浜】海人の家運営管理

玉井 雅子

2月は、シラハマコイナのPR動画や、パンフレットの撮影を行いました。実際に行っているツアーの様子や、白浜集落の日常の風景が良く分かるように撮影しました。私も出演したのですが、20代の頃は役者として撮影に参加していたので、その頃を思い出しながら、楽しく撮影出来ました！

白浜の良さがとても良く分かる、素敵な仕上がりになってますので、ぜひ皆様にも見て頂きたいです！



【鳩間島】海ごみステーション運営

船越 義正

3月、卒業シーズン到来です。鳩間小中学校では、島民の皆さん、観光客の方も参加して、グランドゴルフ大会や、ビーチクリーンが行われました。

ビーチクリーンでは1時間くらいでフレコンバッグ4袋というたくさんのお漂流ゴミを回収することができ、普段はなかなか手の入らないアダンの茂みなどもスッキリしました。別れと出会いの季節、子供たちにとっても思い出深い時間となったことでしょう。



【石垣庁舎】移住定住係 瀧田 楓

少し前にはなりますが2月上旬に「令和4年度技術者育成事業 Discovering New」への参加、当講演会で空家活用事例として紹介された「あおみどりの木」にも足を運び、オーナー様から再利用への経緯経過を教えてくださいいただきました。長い年月の中で建築が吸収してきた町の空気を吹き返させるような活用事業は素晴らしい、今回学んだ知識は今後の竹富町での空き家対策へ離島ならではの状況と共に変容させて活用していきたいと思います。



【竹富島】環境保全事業 玉木 大悟

2月中旬に財団活動の一環で「雑穀座談会」を農耕に関わる長老を言む島人、雑穀について研究している教授と大学院生などを交えて旧与那国家住宅で開催しました。教授から以前、竹富島を訪れたときの話と写真を見せてもらい、大学院生から沖縄および他地域の雑穀などについての話を聞きました。その後、島人の皆さんから当時の島の農耕や作られてきた雑穀の品種などについて聞き、その中で長老方の貴重な話し合いが行われました。座談会の様子を記録して感じたことは長老など島人の体験談を後世に繋げていきたいと心から思いました。



【波照間島】

波照間航空路線復活プロジェクト支援

瀧田 翔太

青年会の活動としてニシ浜に設置してある無料で使用できるシャワー室の内壁のペンキの塗り直しを行いました。これから始まる本格的な海水浴シーズンに向けて波照間に来られるみなさんが気持ちよく使ってもらえるようにと思いを入れて塗りましたのでキレイに使って頂けると嬉しいです！



竹富町学校だより



古見小学校

古見小学校は、文部科学省の海洋教育特例校に指定され2年が経ちました。「結め海科」として教科で海洋教育を学習しています。「結め海科」では、学校近くにある前良川や後良川、そして古見の浦という豊かな自然の中で「サップ体験・カヤック体験」や「カーナ（海藻・ウムズナー（タコ）とり体験）などの他、歴史のある集落での「豊年祭・詰願祭」など海と繋がり深い祭りも海洋教育として学んでいます。

また、これまで取り組んできた「チヨウ観察」や「キビ刈り体験」、地域と一緒に「地震津波避難訓練」も「結め海科」として学習しています。令和4年度は「マイクログラスチックストーリー」ほからが作る「2050年」の映画監督でもある佐竹氏の協力の下、その小学校と古見小学校、上原小学校5・6年で交流し、身近な自然や海洋ゴミについて情報を交換したり、お互いの首長に提言をしたりすることができました。「1人の100歩より、100人の1歩」を目指し、今年度も西表の素晴らしい自然で体験活動をしながら、竹富町の豊かな自然のために自分達でできることを考えて取り組んでいきたいと思えます。



古見小学校「結め海科」ストーリー

たっぷり

実体験で故郷「古見」への誇り・愛着形成

大好きな

故郷「古見」の自然・文化を**持続させるために**できることを考え、実行する

学んだことをまとめ、地域や学校外へ発信する



カーナ探り



SUP体験



ゴミ0運動後の図籍調査



前泊町長への提言書お渡し会



黒島研究所見学



サンゴ礁見学in船浮



保護者への発表会



N Yの小学校、上原小とのZoom交流



「インボイス制度」

～申請受付始まっています～



令和5年10月1日から適格請求書等保存方式(いわゆるインボイス制度)が開始されます。消費税の仕入税額控除を受けるためには、適格請求書(インボイス)の保存が必要です。適格請求書発行事業者のみが適格請求書(インボイス)を交付することができます。「適格請求書発行事業者」になるためには、登録申請書を税務署に提出し**税務署長の登録を受ける必要があります。**

インボイス制度とは？

インボイス制度の基本を分かりやすく解説した動画です。消費税の申告を行ったことがない事業者の方も適格請求書発行事業者になるかどうかの検討が必要です。ぜひ動画をご覧ください。



制度の対応には事前準備が必要です。申請は便利な e-Tax で。



インボイス制度対応に向けた準備のポイント

買手としての準備

- 継続的な取引の相手先(仕入先等)に対して、
 - ①登録の有無の確認、②適格請求書の様式や受領方法の確認が必要
- 必要に応じて、経理・発注システムなどのシステム改修等
- 適格請求書等保存方式に係る社員研修の実施

売手としての準備

- 継続的な取引の相手先(売上先等)に対して、
 - ①登録番号、②適格請求書の様式や交付方法の認識の共有
- 自身が行う取引について適格請求書の記載事項を満たす書類を整備(請求書、納品書、レシートなど)
- 適格請求書の交付方法(電子インボイスの提供など)を検討
- 必要に応じて、レジや経理・受注システムなどのシステム改修など

～登録申請手続関係サイトのご紹介～

インボイス制度特設サイト



登録申請手続



作成マニュアル
～e-Taxソフト(WEB版)～



Q & A



インボイス制度に関する一般的なご質問やご相談は、軽減・インボイスコールセンターへ！！

フリーダイヤル

0120-205-553(無料)

受付時間

9:00～17:00(土日祝日除く)

竹富町出産・子育て応援事業のご案内

国の施策に基づき、妊娠期から出産・子育てまで一貫して子育て家庭に寄り添い、様々なニーズに即した支援につなぐ伴走型相談支援と経済的支援を一体として実施しています。

○支援の種類○

伴走型相談支援

- 保健師による面談実施のタイミング
 - ①妊娠届出時
 - ②妊婦訪問時（7～8か月頃）
 - ③赤ちゃん訪問時（出生～3か月頃）
- 面談対象者
妊婦・産婦

経済的支援

*伴走型支援の面談実施後に支給

- 出産応援給付金
妊婦1人当たり5万円
- 子育て応援給付金
新生児1人当たり5万円
- 支給方法
申請時に指定した口座へ振り込み

○給付金の種類○

出産応援給付金

- 対象者
 1. 妊婦
 2. 申請時点で竹富町に住所がある方
 3. 他市町村で出産子育て応援事業による給付を受けていない方
- 要件
妊娠届出時に面談を受けアンケートに回答した方

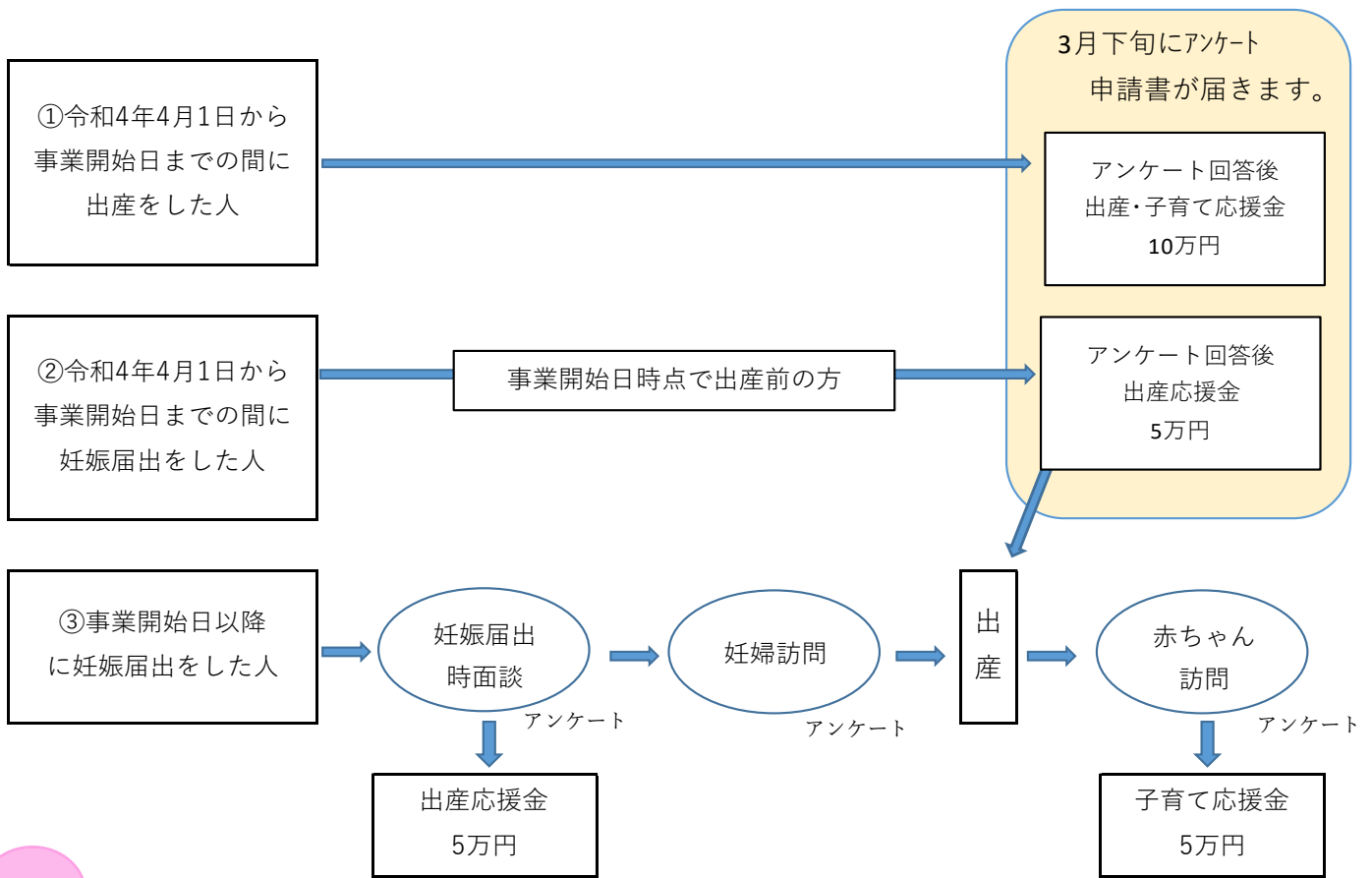
子育て応援給付金

- 対象者
 1. 出生した児童の養育者
 2. 申請時点で竹富町に住所がある方
 3. 他市町村で出産子育て応援事業による給付を受けていない方
- 要件
妊婦訪問及び赤ちゃん訪問時に面談を受けアンケートに回答した方

○対象者○

- ① 令和4年4月1日から事業開始日までの間に出産をした方
- ② 令和4年4月1日から事業開始日までの間に妊娠届出した方
- ③ 事業開始日以降に妊娠届出をした方
 - ① ②の対象の方には3月下旬に申請書・アンケートなどを送付しています。詳細は案内通知をご確認ください。申請時点で竹富町に住所がある方が対象です。

伴走型相談支援・経済的支援の流れ



よくある質問

Q：妊娠検査薬で陽性が出ました。出産応援給付金の対象となりますか。

A：妊娠検査薬の判定のみでは出産応援給付金の対象となりません。産科医療機関等で妊娠の確認後に申請してください。

Q：体調がすぐれないため、親子健康手帳の交付は妊婦本人が行けません。申請はどのようにしたらいいですか。

A：妊婦の代理の人が来た場合でも、親子健康手帳の交付はできます。ただし、出産応援給付金の給付申請は、妊婦本人と面談後となります。

Q：竹富町外へ転出予定です。出産応援給付金や子育て応援給付金は支給対象になりますか。

A：申請日時点で竹富町に住所を有する人で、面談等を行った人は支給対象となります。転出時期や面談の有無等により対象とならない場合もありますので、詳しくは竹富町子育て世代包括支援センター（健康づくり課内）までお問い合わせください。

Q：里帰り出産を予定しています。赤ちゃん訪問を受けられない場合、子育て応援給付金の申請はどのようにしたらいいですか。

A：里帰り先への滞在期間や訪問時期の希望を伺いますので、出産後に竹富町へご連絡ください。

●問合せ●

竹富町子育て世代包括支援センター（健康づくり課内） ☎0980-82-7519

令和5年度 住民健診のお知らせ

年に一度、健診・がん検診を受診しましょう！

生活習慣病の進行は自分ではなかなか気がつきません。年に1度健診を受けることで、病気が進行する前に体の異常に気づくことが可能です。また、多くのがんは初期に自覚症状がほとんどないため、定期的にかん検診を受け、早期発見・早期治療につなげることが重要です。

胃がん検診・大腸がん検査の受診を希望される方は事前予約をお願いします。予約方法は、同広報誌内「胃がん検診・大腸がん検診の実施と予約方法について」をご確認のうえ事前予約をお願いいたします。

住民健診日程表 **【問い合わせ先】 竹富町 健康づくり課 TEL 0980-82-7519**

会場	月日	地区名	年齢区分	受付時間	胃がん
中野わいわいホール	5月15日(月)	船浮・白浜・祖納・干立	60歳以上	8:30~11:00	予約制
			区分なし	13:00~15:00	
	5月16日(火)	上原地区全域 浦内・住吉・中野	65歳以上	8:30~11:00	予約制
			区分なし	13:00~15:00	
	5月17日(水)	上原・船浦・鳩間	区分なし	8:30~11:00	予約制
				13:00~15:00	
離島総合センター	5月19日(金)	東部地区全域 美原・大富・古見	65歳以上	8:30~11:00	予約制
			区分なし	13:00~15:00	
	5月20日(土)	新城・豊原・大原	区分なし	8:30~11:00	予約制
				13:00~15:00	
波照間農村集落センター	5月22日(月)	波照間全地区 富嘉・前	70歳以上	8:30~11:00	予約制
			区分なし	13:00~15:00	
	5月23日(火)	名石・北・南	区分なし	8:30~11:00	
黒島伝統芸能館	5月24日(水)	全域	区分なし	8:30~13:00	予約制
竹富まちなみ館	5月25日(木)	全域	65歳以上	8:30~11:00	予約制
			区分なし	13:00~14:00	
小浜公民館	5月26日(金)	全域	55歳以上	8:30~11:00	予約制
			区分なし	13:00~15:00	

持ちもの(74歳以下)

◆健康保険証(国保は受診券と一体型) ◆健診料金 ◆健康手帳

持ちもの(75歳以上)

◆健康保険証(ピンク色) ◆受診券 ※5月初め頃、役場から届きます ◆健康手帳 ◆健診料金

●検査日前後の食事について(より精度の高い検査をするために)

午前受診 検査前日の食事は21時までに済ませ、検査当日の朝食はなるべく控えましょう。

午後受診 検査前日の食事は21時までに済ませ、検査当日の朝食は8時までに軽めにとり、昼食はなるべく控えましょう。

●血圧の薬は飲んで来てください。

●妊娠中の方は、妊婦健診を受診されているため、住民健診は対象外となります。

健診項目と料金

受けて安心！ 知って改善！ 健診受診で健康習慣！

健診名	対象年齢	対象者(加入保険等)	健診料金
40歳未満健診	16歳～39歳	40歳未満で竹富町に住所のある方	2,000円
特定健診	40歳～74歳	竹富町国保加入者	無料
		社会保険(県内)の被扶養者 ※協会けんぽが発行した受診券をお持ちください	協会けんぽ 無料
長寿健診	満75歳以上	後期高齢者医療保険加入者	無料
一般健診	16歳以上	生活保護受給者	無料

※1 事業者は、労働安全衛生法により、労働者に定期健康診断を実施する義務があります。竹富町の集団健診受診を希望される事業主様は、事前に健康づくり財団(Tel.098-889-6474)へ申込みをお願いします。

※2 会社にお勤めの方は、会社から通知のあった時間枠での受診をお願いします。

健診項目	対象	検査方法	料金
肺がん(胸部検診) (結核検診)	16歳以上	エックス線撮影	無料
喀痰	肺がん検診受診者で喫煙指数が高い40歳以上	痰採取(採取容器当日配布、後日回収)	550円
胃がん	16歳以上予約制 事前予約が必要です	バリウム・X線撮影	40歳未満 3,000円 40歳以上 500円
大腸がん	16歳以上予約制 事前予約が必要です	問診・検便2日採取	40歳未満 1,870円 40～74歳 550円 75歳以上 無料
肝炎ウイルス検査	①40歳 ②45・50・60・65・70歳で今まで検査未受診	血液検査	無料
当日問診で 受診を確認する 項目	検査項目		特定健診・長寿健診で、医師の判断で検査が必要と認められた方は無料
	料金		
	心電図	1,430円	
	眼底	1,100円	
	貧血	550円	
前立腺がん検査	男性(50歳以上推奨)	血液検査	2,200円

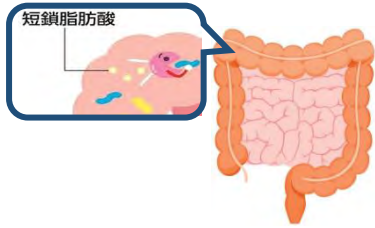
新型コロナウイルス感染症拡大防止のためご協力をお願いします

- 混雑を避けるため、午前受付時間に年齢区分を設けて実施します。
- 自宅で検温を済ませ、37.5℃以上の熱・喉の痛み・咳などの**かぜ症状**・強いだるさがある方、**県外・海外への渡航歴があり帰島後2週間以内**の方は受診を控えてください。※ただし、帰島後1週間以内のPCR検査または抗原検査の陰性証明書を提示できる方または新型コロナワクチンを2回接種済みの方は除く。
- マスク着用のうえご来場ください。また会場でのこまめな手指消毒をお願いします。

あなたの食欲を抑える”カギ”が分かりました！！ 『満足できる脳』へ近づこう

栄養マメ知識
vol. 25

◆『満足できる脳』へのカギは腸内細菌が作る短鎖脂肪酸！



短鎖脂肪酸は…

大腸で腸内細菌が水溶性食物繊維を
発酵させて作ります。

腸内細菌のエサ

短鎖脂肪酸は脳に働きかけて食欲を抑える働きがあります！

◆短鎖脂肪酸の材料！水溶性食物繊維が多いものは…？



オクラ



モロハイヤ



ブロッコリー



小松菜



ほうれん草



春菊



水菜

緑の濃い野菜が多いね
冷凍野菜で売られている
ものもあるね



今、手に入りやすい もずく、ひじき、カーナ、わかめなどの海藻もおすすめ！

◆青菜は食べにくい？！毎日 美味しく食べるためのススメ

・ゆでる、レンジでチン！

加熱することによりカサが減り、
生でそのまま食べるより、量をとる
ことができます。

・美味しくするものを追加

しょうが、ネギ、にんにく、かつお節
乾燥のり、カニカマ、ごま、しそ、
レモン など

・お好みの味付けで

減塩調味料、キムチ、ポン酢
減塩しょうゆ、塩こんぶ、みそ など

・冷凍保存や作りおきで+1品

加熱後、冷凍保存してすぐに使える
ように。ナムルやピクルスなど日持ち
するものを作って常備菜に

満足しにくい脳(脳の変調)を解決するには、
食物繊維から作られる短鎖脂肪酸が必須です。
今日から実践して「満足できる脳」へ近づきましょう。



《健康づくり課 管理栄養士》

【令和5年度竹富町住民健診・特定健診】 胃がん検診・大腸がん検診の実施と 予約方法について

2023.3.13 現在

令和5年度の住民健診・特定健診より、**胃がん検診及び大腸がん検診は、予約制**にて実施することとなりましたのでお知らせいたします。予約をしていないと受診できませんので、ご注意ください。当日予約の受付はできません。

①予約の受付期間について

令和5年4月3日(月)から4月20日(木)まで

②予約の方法について

下記のQRコードかURLから予約フォームにアクセスし、登録を行ってください。



<https://logoform.jp/form/JFb9/239795>

③インターネットからの予約が困難な方は、電話予約も受付いたします。下記問合せ先までご連絡ください。

④検診対象は、竹富町に住民票のある方のみとなります。

【問合せ先】 竹富町健康づくり課
電話：0980-82-7519(平日9時～16時)

庁舎整備進捗状況について

お問合せ先
 竹富町役場 政策推進課
 庁舎整備推進係：横目・喜久本
 TEL：0980-83-0507
 FAX：0980-82-6199

令和4年6月以降の主な取り組み

●庁舎整備に関する検討委員会（令和4年6月以降）

第19回 竹富町役場新庁舎整備等に関する検討委員会

日時：令和4年8月23日

議題：大原庁舎関連

- ・ 前回委員会以降の見直し検討経緯について
- ・ 大原庁舎等整備計画案について
- ・ 事業手法に関する検討について
- ・ 今後のスケジュールについて

●大原庁舎の整備に係る住民説明会

下記のとおり住民説明会を実施しました

令和5年2月1日	西表東部地区（離島総合センター）
令和5年2月7日	西表西部地区（中野わいわいホール）
	白浜地区（web開催）
	船浮地区（〃）
	鳩間地区（〃）
令和5年2月14日	竹富地区（〃）
	黒島地区（〃）
	小浜地区（〃）
	細崎地区（〃）
	波照間地区（〃）
	新城地区（石垣庁舎会議室）

※令和4年12月現在の施設計画案



■今後の予定

令和4年度は様々な観点から全体的な計画内容の見直しが生じてきたことに伴い、大原庁舎等のあり方について議論・検討を進めてまいりました。住民説明会でのご意見やご要望を集約し年度内に基本計画を策定いたします。引続き町民皆様の意見等を広く聴取しながら、大原庁舎等の理想的なあり方を検討してまいります。



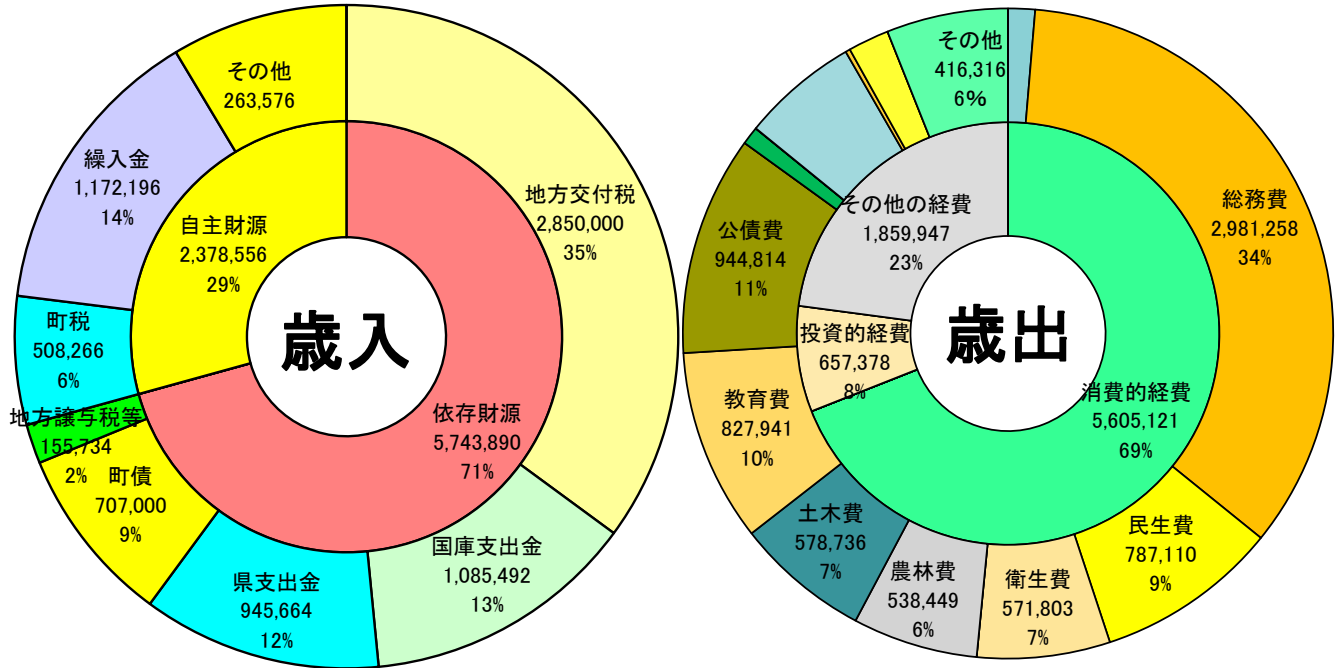
ご意見ご要望はこちらから（町長直行便）

令和5年度の竹富町の予算です

一般会計 予算総額81億2,244万6千円(対前年度比11.4%増)

令和4年度の新年度予算が、去った3月定例議会で議決されました。今年度の予算は、総額81億2,244万6千円で、昨年度の当初予算に比べると8億3,435万4千円の増額となっております。

一般会計総額8,122,446千円



令和4年度予算総括表

(単位:千円、%)

会計区分	本年度予算額	前年度予算額	増減額	伸び率
一般会計	8,122,446	7,288,092	834,354	11.4
特別会計	1,799,937	2,256,684	△ 456,747	△ 20.2
国民健康保険事業特別会計	645,591	631,442	14,149	2.2
介護保険事業特別会計	449,877	481,377	△ 31,500	△ 6.5
後期高齢者医療特別会計	35,209	31,325	3,884	12.4
水道事業特別会計	527,744	1,053,797	△ 526,053	△ 49.9
下水道事業特別会計	58,339	42,778	15,561	36.4
農業集落排水事業特別会計	83,177	15,965	67,212	421.0
合計	9,922,383	9,544,776	377,607	4.0

町民一人当たりに使われるお金

1,891,140 円

令和5年2月末現在人口(4,295人)基準

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費
26,892 円	694,123 円	183,262 円	133,132 円	125,366 円	41,068 円
土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	その他
134,746 円	17,941 円	192,769 円	214 円	219,980 円	121,645 円

今年度の主な事業

- 総務費
 - ・ブロードバンド環境整備事業
 - ・多機能型貨物輸送船導入事業
 - ・竹富町民等船賃負担軽減事業
 - ・竹富町和牛生産推進事業
 - ・救急救命業務委託事業
- 農林水産業費
 - ・竹富町農林水産物条件不利性解消事業
 - ・竹富町地区農道整備事業
 - ・農業水路等長寿命化・防災減災事業
- 民生費
 - ・障害者自立支援事業
 - ・ふれあいサロン事業委託
 - ・介護サービス業者交通費等助成
- 土木費
 - ・町道整備事業(宮里線、船浦5号線)
 - ・町営住宅整備事業(細崎、大富)
- 商工費
 - ・離島航路補助
 - ・竹富町民等船賃負担軽減事業(サーチャージ補助)
- 教育費
 - ・離島高校生就学支援事業
 - ・鳩間島留学制度事業
 - ・重要伝統的建造物群基盤強化事業
- 衛生費
 - ・リサイクルセンター維持管理
 - ・竹富町海岸漂着物対策事業
- 消防費
 - ・大富地区消防車両配備事業

令和5年度 竹富町健康ポイント事業



40歳以上の竹富町国保
後期高齢加入者 限定!

令和5年

令和6年

ポイント付与
応募期間

5/1 ~ 2/29

ポイントをためて
健康と賞品を
ゲットしよう!!

健康ポイント事業とは

特定健診（住民健診）などの健康づくりに関する事業に参加するとポイントが貯まり、100ポイント貯めると抽選で賞品を贈呈します。ポイントを貯めながら楽しく健康づくりに取り組みましょう。

1 ポイントカードをゲット

令和5年度、国民健康保険対象の方は住民健診時に配布、後期高齢者医療保険対象の方は長寿健康診査受診券に同封して郵送します。個別で健診を受けられる方、紛失した方は、下記担当課へご連絡下さい。

2 ポイントを100Pためる

特定健診やがん検診の受診、その他健康づくりに関する事業の参加でポイントをためる。
(いきいき百歳体操・au健康プロジェクト測定・ばいぬ島健康プラン21事業など)

3 抽選に応募する

ポイントカード・保険証の提示・アンケート記入の上、竹富町役場健康づくり課、各出張所の窓口または郵送で応募する。

※アンケートは上記応募場所及び竹富町HPに掲載します。

4 特典をゲット!

抽選で、100名様に
素敵な賞品が
当たります。



賞品例

竹富町役場健康づくり課 TEL:82-7519
住所:〒907-8503 石垣市美崎町11-1